

【サンプル問題1】 [ライフプランニングと資金計画]

下記は、会社員の稲垣さん（39歳）の家庭のキャッシュフロー表（一部抜粋）である。以下の空欄（ア）にあてはまる数値を求める算式として、正しいものはどれか。なお、計算に当たっては、下記[注意事項]を基に解答すること。

[注意事項]

問題作成の都合上、一部空欄にしてある。また、記載されている数値は正しいものとする。
解答に当たっては、表中に記載された整数を使用すること。

<稲垣家のキャッシュフロー表>

(単位：万円)

経過年数		現在	1年後	2年後	
西暦(年)		2010	2011	2012	
平成(年)		22	23	24	
家族・年齢	稲垣 拓哉	本人	39歳	40歳	41歳
	美穂	妻	38歳	39歳	40歳
	真希	長女	12歳	13歳	14歳
	奈々	二女	8歳	9歳	10歳
	里奈	三女	5歳	6歳	7歳
ライフイベント		(変動率)	住宅取得		
収入	給与収入(本人)	1%	735	742	750
	給与収入(妻)	1%	220	222	224
	収入合計	-	955	964	974
支出	基本生活費	1%	330	333	
	住宅関連費	1%	300	303	
	教育費	2%	80	250	
	保険料	-	32	32	32
	その他支出	1%	35	35	
	一時的支出	1%	1,200	0	
	支出合計	-	1,977	953	
年間収支	-	1,022			
預貯金等残高	1%	420	(ア)		

1. $420 \times (1 + 0.01) + (964 - 953)$
2. $420 + (964 - 953)$
3. $420 + (964 - 953) \times (1 + 0.01)$

【サンプル問題2】 【ライフプランニングと資金計画】

F P業務を行ううえでは、「関連業法」を順守することが重要である。ファイナンシャル・プランナー（以下「F P」という）の行為に関する次の記述のうち、最も適切なものはどれか。

- 1．税理士資格を持たないF Pでも、無償であれば、税理士法に定める税務相談を業として行うことができる。
- 2．弁護士資格を持たないF Pでも、遺産分割に関して、個別具体的な法律判断をすることができる。
- 3．社会保険労務士資格を持たないF Pでも、セミナーにおいて、公的年金制度の概要についての説明をすることができる。

【サンプル問題3】 【金融資産運用】

正広さんは、いずれは預貯金のうち一部を外貨預金で運用したいと考えている。外貨預金に関する次の記述のうち、最も適切なものはどれか。

- 1．外貨預金の金利は、一般に、金融機関、通貨、預入期間などによって異なっている。
- 2．外貨預金には、為替相場の変動に伴う元本割れのリスクはない。
- 3．金融取引において、顧客が円を外貨に換える際の為替レートをT T Bレート、顧客が外貨を円に換える際の為替レートをT T Sレートという。

【サンプル問題4】 [リスク管理]

下記の<資料>を基に、成川勉さんが契約者および被保険者として加入している、生命保険の保障内容に関する次の記述の空欄(ア)にあてはまる金額として、正しいものはどれか。なお、保険契約は有効に継続しているものとし、勉さんはこれまでに下記の保険から保険金および給付金を一度も受け取っていないものとする。

<資料・保険証券>

定期保険特約付終身保険(一部抜粋)		
契約者 : 成川 勉 様 被保険者 : 成川 勉 様 契約年齢 35 歳 受取人 : (死亡保険金) 成川 花子 様 [契約者との続柄] 妻		契約日 : 2006年(平成18年)6月1日 主契約の保険期間 : 終身 主契約の保険料払込期間 : 25年払込
保障内容		
主契約・特約名	保険金額・基本年金額・給付金額	保険期間
終身保険(主契約)	保険金額 300万円	終身
定期保険特約	保険金額 1,700万円	10年間
生活保障特約(*)	年金年額 150万円	10年間
災害入院特約(本人型)	入院5日目から 日額 5,000円	10年間
疾病入院特約(本人型)	入院5日目から 日額 5,000円	10年間
成人病入院特約	入院5日目から 日額 5,000円	10年間
(*) 生活保障特約の年金種類 : 10年確定年金		

成川勉さんが平成22年中に、交通事故で死亡(即死)した場合に支払われる死亡保険金は、一時金(ア)と年金年額150万円×10回である。

1. 300万円
2. 2,000万円
3. 2,150万円

【サンプル問題5】 [タックスプランニング]

パン屋を営む奥村次郎さん（個人事業主）の平成22年分の所得税の算出において、下記の＜所得控除の資料＞に基づき計算した所得控除の合計額として、正しいものはどれか。なお、奥村さんの平成22年分の所得は事業所得510万円のみであり、このほかに所得はない。また、記載のない事項については考慮しないこととする。

＜所得控除の資料＞

- ・ 奥村さんは生命保険契約（一般の生命保険料のみ）の保険料を年間13万円支払っている。
- ・ 奥村さんは社会保険料を年間60万円支払っている。
- ・ 基礎控除は38万円である。

1．5万円（生命保険料控除）+ 38万円（基礎控除）= 合計43万円

2．5万円（生命保険料控除）+ 60万円（社会保険料控除）+ 38万円（基礎控除）= 合計103万円

3．13万円（生命保険料控除）+ 60万円（社会保険料控除）+ 38万円（基礎控除）= 合計111万円